

# エコリーフ/カーボンフットプリント 定量型環境ラベルの将来像 ワークショップアンケート

1. あなたの所属についてお伺いします。該当するものにの印を入れてください。

会社員

製造業 → (食品 日用品 電機電子 衣料品 印刷 その他)

サービス業 → (販売 流通 その他( ) )

その他( ) )

→事業規模(大企業 中小企業)

自営業

その他

2. 定量型環境ラベル取得の目的/ターゲットをどのようにお考えですか?/複数選択可

① 目的

CSRの一環(企業イメージの向上)

環境負荷の数値比較による優位性主張(訴求ポイントに活用)

販売戦略としての位置付け(製品の売上増)

サプライチェーン情報の管理

市場が求めている

その他( ) )

② ターゲット

環境意識の高い消費者とのコミュニケーション

一般の消費者コミュニケーション

サプライチェーン・自社内でのコミュニケーション

その他( ) )

3. 貴社は定量型環境ラベルプログラム(エコリーフ又は GFP)でラベルの登録・公開をしていますか。

登録・公開をしている

→定量型環境ラベルを取得したことで、国内外それぞれにおいて、経営・営業上のメリットを感じたことがありますか?

感じた事がある

→具体的に、どのようなメリットを感じましたか?/複数選択可

企業イメージが向上した

取引先の調達基準等に合致し取引につながった

環境意識の高い消費者への販売増

その他( ) )

感じた事はない

→今のプログラムは、メリットにつながる要件を満たしていると思いますか?

満たしている

どちらかという満たしている

どちらかという満たしていない

まったく満たしていない

→「満たしている」「どちらかという満たしている」以外を選ばれた方はその理由は何ですか?

( ) )

登録・公開をしていない

→定量型環境ラベルを取得、利用される上で特に課題と思われることは何ですか?

/複数選択可

コストが高い

審査手続きが複雑

認知度が低い

原単位等算定に必要なデータの整備が十分ではない(データが少ない、古い、統一されていない)

数値の見える化だけでは環境製品として訴求できない

中小企業においては対応負荷が大きい

その他( ) )

…裏面に続く…

4. 国内外において、どのような環境情報の発信有効かつ効果的とお考えですか？／複数選択可
- 温暖化効果ガスの排出量
  - 消費電力等エネルギー消費量
  - 資源消費量
  - 国・地域によって異なる(具体的に )
  - その他( )
5. 定量型環境ラベルについて、現在ボランタリーな取組となっているが、普及のためには、今後、どのような対応が必要と考えますか？／複数選択可
- 消費者から評価されるなど社会的なインセンティブの構築
  - (個社の対応ではなく)業界として取り組むことが必要
  - 定性的な評価を加えるなど消費者への訴求力の向上が必要
  - 海外の環境ラベルとの相互認証の導入
  - その他( )
6. 貴社はエコマークなど他の環境ラベルを取得、利用されていますか？
- 取得、利用している
    - それらの環境ラベルとの併用で困ったことはありませんか？
    - ある →具体的事例( )
    - ない
  - 取得、利用していない
7. 貴社は海外の環境ラベルを取得されていますか？
- 取得している
    - 具体的対象は何ですか？
    - 国名;( )
    - 制度名;( )
    - 取得の目的は何ですか？( )
8. 貴社は海外の定量型環境ラベル制度との相互認証を望まれますか？
- 望む(理由; )
  - 望まない(理由; )
  - わからない
9. 最後に本ワークショップについてお伺いします。
- 参考になった講演をお選び下さい。／複数選択可
- <基調講演>  事業者取組事例(キヤノン、エルケム・ジャパン)
  - 海外の環境ラベルの状況  定量型環境ラベルの将来像

お名前	企業名

以上 ご協力ありがとうございました